

令和8年8月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症が幅広い年齢層で多く報告されています。
- インフルエンザの患者報告数が増加し、例年より1か月半程度早い流行期入りとなっています。
- 梅毒をはじめとした性感染症の報告が増加しています。

◇ 全数把握の対象 <2026年7月20日～2026年8月23日に報告された全数把握疾患>

細菌性赤痢	1件	急性脳炎	1件
腸管出血性大腸菌感染症	23件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	4件
A型肝炎	3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
エムボックス	2件	侵襲性髄膜炎菌感染症	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
レジオネラ症	6件	水痘(入院例に限る)	2件
アメーバ赤痢	7件	梅毒	28件
ウイルス性肝炎	2件	百日咳	12件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5件		

- 細菌性赤痢**:30 歳代、病型は sonnei (D 群)、感染経路は経口感染です。
- 腸管出血性大腸菌感染症**:10 歳未満～80 歳代で、O 血清群は O157 が 13 件、O26 が 2 件、O111 が 2 件、O103 が 3 件、O146 と Og150 がそれぞれ 1 件、不明が 2 件です。無症状病原体保有者は 11 件です。感染経路等は経口感染と推定される報告が 7 件、接触感染と推定される報告が 1 件、不明が 15 件です。
- E 型肝炎**:60 歳代と 70 歳代で、感染経路は経口感染と推定される報告が 1 件、不明が 1 件です。
- A 型肝炎**:20 歳代～50 歳代で、感染経路等は経口感染と推定される報告が 3 件、そのうちの 1 件は性的接触もあります。3 件ともワクチン接種歴はありません。
- エムボックス**:20 歳代と 30 歳代で、感染経路等はどちらも接触感染と推定される報告です。
- デング熱**:20 歳代、病型はデング熱です。感染経路等は蚊からの感染と推定されます。
- レジオネラ症**:40 歳代～90 歳代で、病型は肺炎型が 5 件、ポンティアック熱型が 1 件です。感染経路等は水系感染と推定される報告が 4 件、不明が 2 件です。
- アメーバ赤痢**:20 歳代～70 歳代で、感染経路等は経口感染と推定される報告が 6 件、不明が 1 件です。
- ウイルス性肝炎**:20 歳代と 30 歳代で、どちらも病型は B 型、感染経路等は不明、ワクチン接種歴も不明です。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:70 歳代～80 歳代で、感染経路等はいずれも推定ですが、医療器具関連感染 1 件、院内感染 1 件、その他の報告が 1 件、不明が 2 件です。
- 急性脳炎**:70 歳代で病原体は不明です。感染経路等は接触感染と推定されます。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:50 歳代と 70 歳代で、血清型は A 群と G 群、感染経路等は 2 件とも不明です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**:30 歳代～50 歳代で、病型は AIDS が 2 件、その他が 1 件、無症状病原体保有者が 1 件で、感染経路等は性的接触(同性間)が 3 件、性的接触(詳細不明)が 1 件です。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症**:70 歳代と 90 歳代で、感染経路等はいずれも推定ですが、飛沫・飛沫核感染が 1 件、接触感染が 1 件です。ワクチン接種歴は無しが 1 件、不明が 1 件です。
- 侵襲性髄膜炎菌感染症**:60 歳代で、感染経路等は不明、ワクチン接種歴も不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**:10 歳未満～80 歳代(ワクチン接種歴、無 2 件、不明 2 件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、そのうち 1 件は接触感染もあり、不明が 2 件です。
- 水痘(入院例に限る)**:70 歳代と 80 歳代で、2 件とも臨床診断例で、感染経路等は不明です。
- 梅毒**:10 歳未満～70 歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期 5 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 15 件、晩期顕症梅毒 1 件、無症状病原体保有者が 7 件です。感染経路等は性的接触による感染と推定される報告が 21 件(異性間 14 件、同性間 4 件、詳細不明 3 件)、不明の報告が 7 件です。

19. 百日咳:10歳未満～60歳代(ワクチン接種歴4回1件、3回1件、不明10件)で、感染経路等はすべて不明です。

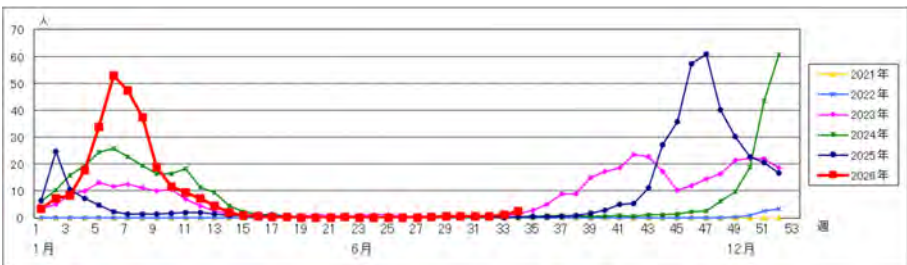
◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94→51、内科定点は59→39医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2026年第30週	7月20日～7月26日
第31週	7月27日～8月2日
第32週	8月3日～8月9日
第33週	8月10日～8月16日
第34週	8月17日～8月23日

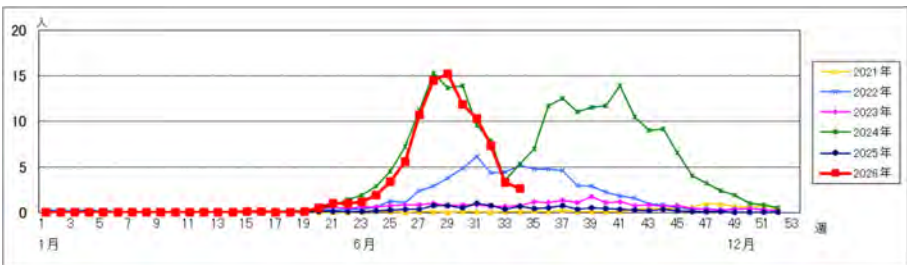
1 インフルエンザ

2026年第33週(8月10日～8月16日)に1.17となり、流行期入りの目安となる1.00を超えました。第34週は2.53で、幅広い年齢層で患者が報告されています。



2 手足口病

2026年は第26週(6月22日～6月28日)に5.56となり、2024年以来の流行警報レベルとなりました。第29週(7月13日～7月19日)には15.18まで上昇しましたが、以後減少傾向で、第34週は2.62です。



3 性感染症(2026年7月)

性器クラミジア感染症	男性:36件	女性:25件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:26件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:33件	女性:0件	淋菌感染症	男性:17件	女性:5件

4 基幹定点週報

	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.50	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.50	1.25	1.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(2026年7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	15件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
-------------------	-----	----------------	----

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/>